

平成29年第1回議会報告会でいただいた意見・要望

No.	所管	内 容	地区
1	全体	Q 議会だよりの『市民の声』に同調するが、議会はどう考えているのか。 A 人口減少に対して、魚沼市はインパクトが小さい。魚沼市全体で人口減対策・農林業施策に真剣に取り組んでいく。	入広瀬
2	全体	Q 議会だより「市民の声」のとおり、魚沼市創生のビジョンを持って議員活動をしてほしい。 A (回答なし)	守門
3	全体	Q 住みよさランキング20位になった。いろいろな課題があると思うが、住みよさをあげランキング向上するためには議会はどう考えるか。 A 若者定住、企業誘致、第2子医療費無料化などの取組を少しずつ進めることでランキング向上も可能である。	守門
4	全体	Q 観光面からも小出駅、小出郷文化会館などの名前を魚沼〇〇など名称変更を進めるべきだが。 A 個人で質問などしているが、議会全体ではできていない。市長の判断で可能である。	守門
5	全体	Q 魚沼市の最大の課題は人口減少問題が尋常ではないこと。それらについて議会では、発議も含めて議論がほとんど行われていない。市民も含めて人口減少問題に舵を切っていかなければならないのではないかと。 A まだまだ、取り組みが本物になっていないと思います。議会全体としては、最大の課題であるという認識は持っている。個々の議員の考えの違いがありまとまっていない状況だ。	広神
6	全体	Q 行政はとかく経営するという感覚がない。国は今後自治体に対して自分たちで決めるようなことを求めてくる流れがある。その時には経営するという考え方が必要だ。 A (回答なし)	広神
7	全体	Q 予算で財調10億円取り崩したが、積み立てというのは特別なときに使うものとする。市長が好きなように使っているようだ。10億を使っても悪いということではないが、今後、議会のほうでどういうところに使って、こういういい結果が出たんだというようにきちんと監視してもらいたい。 A 市長の政治判断である。財調は30～35億円位でよいと市長は考えているので、取り崩した予算組みの結果である。	湯之谷
8	全体	Q 議会・委員会で様々な取り組みをしていると思うが、重要なもの3つあげるとしたらなにか。 A 常任委員会や特別委員会で取り組んでいること、例えば特別委員会なら庁舎や地域医療など、最も力を入れていることになる。	湯之谷
9	全体	Q 現状の議員定数についての適正化、課題認識についてはどうか。 A 先般の9月定例会において、発議があり議論してきた。人口に合わせて減らすべきという意見と、魚沼の特性、面積などを考えると現状維持という意見もあり、議員も個々に考えはあると思うが、議決として現状維持派が多かった。	湯之谷
10	全体	Q 選挙前で前哨戦が行われているようだが、新人、特に女性や若者で手を上げるものが少ない。職をなげうって出るのは、勇気のいること。新人・女性が出やすいように議論してほしい。そこで、歳費を10万あげてみてはどうか、年間2,500万円増程度である。 A 貴重な意見ですので、今後引き継いでいきたい。また、報酬等審議会からの答申も現状維持で来ている。それらも踏まえて議論していければと考えている。	湯之谷

No.	所管	内 容	地区
11	全体	Q 魚沼市は、南魚沼市・十日町市に比べて活性化が不足している。また、行政のコストダウンが必要と思う。5年で4億円はできると思うが、その金を子どものため、雇用促進など特化して使う工夫が必要と思う。 A 活性化は、雪国観光圏など地域を越えたエリアで、全国に向け共通の観点で手を携えて取り組む必要があると思う。予算のスリム化は必要です。貴重な意見を伺いましたので、この後、選挙を受けた5期のフレッシュな力で対応していただきたいと思います。	小出
12	全体	Q 議会のインターネット中継についてですが、先般岩手の紫波町に行ってきましたがノーカットで生放送をやっていました。当市でもできないのか伺います。 A 現状では、訴訟問題や個人の名前が出るなど休憩を取る必要な面もあります。委員個々が、もっと勉強して力をつけ、対応ができるよう検討を進めてまいります。	小出
13	全体	Q 4年前の議会報告会の際、日本ロマンチック街道の話をした。4年たったが、まだ議会で一回も話が出ていないが、三条市は具体的な話が進んでいる。魚沼市議会は、議会が老けている。良いと思うことを次から次へとやって行かないと魚沼市はダメになってしまう。今の市長を盛り立てて頑張してほしい。 A 大変貴重な意見ありがとうございました。参考にさせていただきます。	小出
14	全体	Q 小出郷図書館、小出郷文化会館、小出警察署など名称に違和感がある。南魚沼市のように改名できないか。 A 指摘のとおりだと思う。宿題にさせていただきます。	堀之内
15	全体	Q 臨時会が開催され副市長人事が審議されると聞いている。国から派遣してもらうようだがそうなのか。内容を聞かせて欲しい。 A 議会運営委員会で提案されるまで、はっきりしたことはお話できません。一般質問でもそのようなことが質問されていて、市長答弁からするとその方向で進むと思います。 Q なぜ、国からなのか。地元を分かる人であるべき。少なくとも地域振興局に務めていた、この地域のことが分かる県の人であるべきでないか。 A 市民にとって何がいいのか考えながら進めると思います。	堀之内
16	総務	Q オスプレイの飛行中止の請願を魚沼市議会は前回否決した。アメリカとの安全保障で否決したのは当然、との声がある。議会はオスプレイ飛行に反対して欲しい。 A 国家機密部分もあることや、他自治体からの請願提出がないということで、継続審査としました。総務委員会で取り組んでいく。	入広瀬
17	総務	Q 庁舎再編一本化について。入広瀬から小出は遠い。中越大地震の時は入広瀬に対策本部があったが、入広瀬庁舎がなくなれば、大災害時の対策・指令塔がないが。どう対処するのか。 A 大地震・豪雪災害時の対策でも、地元を知った職員がいなかった。入広瀬庁舎は耐震になっていないので、取り壊す予定であり、小さな耐震災害施設を検討中である。市民センター・郵便局・商工会館を含めた災害対策としての前線施設を検討していく。 Q 災害時に誰が指令するのか。小出からすぐ跳んでこられるのか。庁舎一本化より先に、この問題を議会でやって欲しい。 A 北部振興事務所で、企画検討中である。北部振興事務所に予算づけをし、サテライト体制で小出も入広瀬も同じ対策をしていく。ワークショップで住民の声を聞いて対策を実施していく。	入広瀬
18	総務	Q 入広瀬地域の乗り合いタクシーは便利ではあるが、予約制でどうか。或いは費用対効果はどうなのか。 A コミュニティバスは好評であり、全市展開も考え、時刻表の見直し等、今後検討していく。	入広瀬

No.	所管	内 容	地区
19	総務	Q ボウリング場の請願が採択されたが、今後どのように進展するのか。 A 議会は市民の請願に対し採択し、市当局の対応を求める結論を出したということです。	守門
20	総務	Q 守門庁舎脇の体育館を冬期間ゲートボールで利用している。計画ではすぐに解体するようだがなるべく後回しにして欲しい。 A 公共施設再編整備計画の説明会を市内6会場で行った。地域の意見を聞きながら再編すると言っている。全415施設の内81が解体、30が譲渡、64ができれば譲渡、56が指定管理、184は直営の考え。	守門
21	総務	Q 社協で進めているお茶の間サロン、大谷内では自治会が主導して3年前に立ち上げた。お茶の間サロンの助成をアップして欲しい。議員発議で対応して欲しい。 A 議会では予算措置は難しい。女性だけでなく男性も参加しやすいサロンにして、コミ協との連携で開催してはどうでしょうか。	守門
22	総務	Q 魚沼市を見ていると、真剣に取り組むという姿勢が感じられない。良い意見でも取り上げる場がない。そういう意見を吸い上げられる仕組みづくりを考えてもらいたい。 A 公共施設再編計画の市民ワークショップが検討されています。その中に参加して意見を上げていただけたらと思います。私たち議会もそれらの意見を踏まえて跡地利用などをしっかりと議論していきたい。	広神
23	総務	Q ゴミ処理場の中継施設はどうするのか。エコプラントに直接搬入が非常に多い。検討していないなら造ってもらいたい。 A 中間処理施設での検討は行っていると聞いている。	広神
24	総務	Q 魚沼市の交流人口の拡大が必要不可欠だと思う。入広瀬は江戸川区と、小出は足立区と30数年来の歴史を持っている。今年、江戸川区は、日光市への小中学校70校が行っている交流事業を見直し、代替え施設を探していると思う。そんなところにも魚沼市が取り組んでみたらどうか。堀之内にある「ベースボールセキュリティー専門学校」の施設はどういう状況か。有効活用できるのではないか。 A タイケン学園は、現在は、ほとんど利用がないという状況。地元からも何か活用方法はないのかという声が上がっている。無償貸与で事実上タイケンが施設を持っている。 A 補足で地域の方で体育館は利用されている。校舎の方は耐震化が行われていないが、他に利用ができないか、地域の拠点となるような場所にならないか、議会でも議論していきたい。江戸川区との交流だが、魚沼市議会正副議長が江戸川区を表敬訪問しており、どういう形の連携ができるか今後模索をしていきたい。	広神
25	総務	Q 現在の魚沼市の検討機能ですが、まちづくり委員会があるが、それらがあまり機能していないと思う。市民と議会が一体となって、議会から行政に対して積極的に提案すべきと思う。市民と議会、議会と行政が、お互いに提案しながら一体となる。必要に応じ、特にテーマを絞って三者が一体となって意見交換をする方向に進むべきと提案いたします。 A 貴重な提案をいただきました。しっかり情報共有しながら対処していきたいと思います。	小出
26	総務	Q 小出駅前の混雑の問題で予算審査の答弁にタクシー業者と協議するとある。まちづくり室にタクシー業者との協議をしているかと聞いたら、今の時点では協議していないと答えた。市の対応はどうなっているのか。 A 市に確認しお答えします。	堀之内

No.	所管	内 容	地区
27	総務	Q 堀之内伝統行事やカヌー体験の訪問者の意見として、岩沢農家民宿、沼垂ゲストハウスの例のように、堀之内商店街に安価に宿泊できるゲストハウスの建設ができないか。 A 土地寄附の話を知っている議員はいないので確認し、委員会で調査します。	堀之内
28	総務	Q 星の観察をしているものにとって、夜間照明の照度が気になります。防犯上必要なのは分かるが、明る過ぎる照明を規制する条例はできないか。ある商業施設の照明は必要以上だと思う。上方に向く光だけでも規制できないか。 A 調査したいと思う。	堀之内
29	総務 ・ (全体)	Q 医師関係の修学資金の返済減免があるとのこと。人口減少で子どもも減り、若者も市外県外に出て帰る人が少ない。医療関係だけでなく他の業種で市に帰ってくる人にも何らかの優遇策を作れないか。 A 医療関係の人材不足が深刻での減免策であります。確かに他の業種に拡充すべきと思う。宿題にさせてください。	堀之内
30	総務 ・ 産建	Q 魚沼市は、県下の中でもワースト1、2が多い。特に人口減少は大きな問題だ。議会対応は中身が薄い。対策として、魚沼にしかないオンリーワンの政策が必要と思う。食材を活かした起業で人を呼ぶシステムが必要と思う。 A 魚沼を愛する人はたくさんいる。特に山菜時は多い。魚沼の良さは自然と心の豊かさだ。第二のふるさととして、交流人口を増やす方向が大切と思う。お客様は、ばあちゃんの味を好む。これこそが魚沼の宝物であり、オンリーワンだと思う。	小出
31	総務 ・ 福祉	Q 以前この地域で子育て支援センター用途廃止後に新しい施設を整備して欲しいと要望した。今回の審議内容に解体新築でなく修繕で活用すべきとのある議員の意見があったようだ。現実には老朽化が著しく、耐震化もされていない。エアコンもだめである。早めに解体し建築するか、芝生を貼るかなどするため早く解体してほしいことを市長に進言して欲しい。 A 説明会の意見を踏まえ、各地域内で検討委員会などを立ち上げ地元の意見を尊重しながら対応すると言っている。この意見は伝えるようにします。	堀之内
32	福祉	Q 図書館の請願が出て採択された。合併協では合併後早い段階で新しい図書館を作るようになっていた。現在の計画はどうなっているのか。 A 福祉文教委員会の中では具体的な話は出ていない。	守門
33	福祉	Q 学区再編の経過はどうなっているか。 A 教育委員会からの具体的考えは示されていない。3学区の再編は当地からの反対があり実現しなかった。専門検討委員会を組織し、守門、入広瀬2地区の再編を2、3年後に目指す結論がでて、準備委員会を組織し進める段階である。	守門
34	福祉	Q 老人会の助成対象が50名以上から30名以上になった。クラブ数が増えると役員も増員しなくてはならないがなれる人がいない。規定数枠でなく、人数に対し1人につきいくらかという補助にできないか。 A 市の回答では、市老連からの要望で上げて欲しいと言っている。	守門
35	福祉	Q 目黒邸の入場者数と収入はどのような状況か。また、市内の小中学校がどの程度利用されているのか。 A 正確な数字を持っていないので後で示したい。小中学校の利用は、次の委員会で教育委員会に対して示し議論していく。 A 予算には305万円とある。年間6,000人程度を見込んでいるのではないか。	広神

No.	所管	内 容	地区
36	福祉	Q 保育所の非常勤職員の正職員への登用が必要ではないか、との質問があったが、国会の方では「会計年度任用制度」ということが議論されている。今後実施されれば、待遇改善に伴い財源が必要になってくる。国の交付税措置を獲得できるように努力をしてもらいたい。 A (回答なし)	広神
37	福祉	Q 十日町市は以前から医療費助成が18歳まで対象でした。今年度から魚沼市も医療費助成を18歳までに引き上げていただきました。高校生になるとスポーツの障害なども出るため、感謝しています。また、子育て支援ということで、保育料助成の上積みに感謝しています。 A 今年度は魚沼市の子育て支援について、他市に追いつき、追い越している。	小出
38	福祉	Q 高齢者の介護保険の負担金が1割から2割になるように聞いていますが、負担の軽減策についても検討をお願いしたいと思っています。 A 来年度から介護保険事業計画が第7期にはいります。この中で、地域包括支援センターが1カ所でしたが、3カ所から4カ所に増やし、地域に密着し健康寿命を延ばして行こうとの取り組みを拡充し、魚沼で最後まで住めるような施策を進めていきます。	小出
39	福祉	Q 図書館を利用しているが2階に設置して上るのが難儀です。新しく建設するときには是非1階にお願いしたい。 A (回答なし)	堀之内
40	福祉・産建	Q 目黒邸の屋根の葺き替えに1億円はかかるといわれている。新潟市の博物館に行った時に、収入を増やそうという努力がされていた。目黒邸自身がそういう努力が見えない。収入を得る視点が必要だ。そういう中で年間1,000万円ずつ積み立てていくというのはどうかと思う。目黒邸自体が収入を見込めるように観光面でも考えていくべき。 A (回答なし)	広神
41	産建	Q 水の郷工業団地での雇用は南魚沼市にとって有益のように見える。水の郷工業団地での企業誘致が進んでいくと魚沼市に雇用はどのくらいあるのか。 A ブルボンに進出を決めて、3年以内に魚沼の気象など調査した上で結論をはっきりさせるようです。食品生産では衛生面から省力化オートメーションを進める傾向であり、雇用は思うほど多くないようです。	守門
42	産建	Q 観光のメインとなるべき小出駅にパンフもない、案内人もいない。只見駅には観光協会があり、観光客に対応している。小出駅でも同様なことができるか。議会でも検討して欲しい。 A 新幹線や地域交通など2次交通を考えていく。市長も観光に力を入れるといっている。	守門
43	産建	Q 農地の保全から、高齢化からも圃場整備を進めて欲しい。 A 小出地域等でも圃場整備を進めている。一程度面積がまとまると可能。地域内集落内の合意が必要です。	守門
44	産建	Q 産業建設委員会の水の郷工業団地二期工事分について、投資額や税収、雇用をどう見込んでいるのか。第一期について投資額と税収、雇用がどの程度生まれたのか。 A 第二期分については示されていない。投資額については、売り切ってしまうえば元は回収できる。第一期と二期も9億9,900万円程の造成費と買収費となっている。	広神

No.	所管	内 容	地区
45	産建	Q 市内の公園について、レク都市公園で響きの森、雪のコロシアムなどは利用率も低い、もっと観光性を強めてもらいたい。ロケーションは非常に良いところなので検討してもらいたい。 A 「かたつくり」を子育て支援施設に変えていく。これからは、今のいただいた意見を生かしていきたい。	広神
46	産建	Q 道の駅「深雪の里」はデータによると、30万人くらいが年間来ていると。それはほとんど食事に来ているということだ。それを固まりとなって販売に結びつけたらどうか。委託契約の更新時に人が大勢来るような戦略を政策的に打ち立ててもらいたい。 A (回答なし)	広神
47	産建	Q 2年連続の小雪でスキー場は本当に疲弊している。スキー場の維持に関して、議会としてはどのような対応を取ろうとしているのか聞かせてください。 A 平成25年から民営化している。索道などの整備は3年契約で、平成31年まで延長して行っている。将来、リフトの掛け替えなど多額な費用が必要なときは協議していく形を当局は考えている。平成31年までに自立できなかったときは、その時点で再延長を考えたいとのこと。その中で市民とともに議会も行政に働きかけるスタンス。 Q その時期の前に、5つのスキー場必要なのか、薬師のリフトも架け替え時期だ。そういうことについて、議会として、3年後にどうしたらいいかという議論は進んでいるのでしょうか。 A 委員会の中では、具体的にあげてまだ議論はしていない。今後、今日の意見を踏まえながら、次の更新までにしっかり議論していきたい。 A 市長の政治姿勢もある。しっかりと見守っていききたいし、議会として取り組んでいきたい。	湯之谷
48	産建	Q 人口減は、流失をどう抑えるかだと思うが、道光平や大栃山・守門の山の上から見ると、この谷を全て牧場にして、魚沼コシヒカリの藁を食べさせて魚沼牛のブランド化を図るなど発想を変えた取り組みなどが必要と考えるがどうか。 A 農業の6次産業化は議会でも検討しています。地道な夢を持ち続けて、ご意見のように視点を変えて魚沼の良さを発信すべきと思っております。	小出
49	産建	Q 魚沼ブランド推奨品・地産地消レシピなど素晴らしい物がありますが、残念ながら個で終わっています。市が中心になって、深雪の里などの場所を活用して、推奨品の販売ができるなど大きな流れをつくる必要があると思います。 A 貴重な提案ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。	小出
50	産建	Q 有機センターについて、水質検査は継続してほしい。臭気対策のための低温発酵処理の可能性検証とはどんなことか。 A 高温で働く菌を使い密閉状態で発酵させ有機肥料を生産している。低温発酵でできるかどうかを検証したものです。可能という検証結果が出た。実際にはこれからです。	堀之内
51	産建	Q 小出本町や上町のアーケード前の道路除雪の担当区分はどうなっているのか。国道ということなので、市が除雪することはないのか。 A 消雪パイプ設置道路は、基本的に機械除雪はしない。雪が残り交通に支障が出ることを県に伝えれば対応もあると思う。その地域で協力しあえる体制づくりを検討し努力していただくことも大事。産建でも調査します。	堀之内
52	産建	Q 小出本町アーケードの看板の撤去もノボリもだめと県から言われた。市はこのことを承知しているのか。 A (回答なし)	堀之内

No.	所管	内 容	地区
53	地域医療	Q 医療系学科が小出高校にあるが、大白川へ医療系大学の設置とか、真剣に入広瀬・守門地区がなくならないよう、議論をして欲しい。 A 医療系大学の設置は難しいが、医師・看護師不足であり、解消に向けた議論をしていく。 A 長岡の田宮病院が医療系大学の設立をするとの説明を受けた。ホテル大自然館を研修施設にとお願いをした。田宮病院の院長も関心を持ってきている。	入広瀬
54	地域医療	Q 足の悪い高齢者が通院する際、定期バス停まで行くのは難儀です。自宅まで迎えに来てもらう対応はできないか。 A 各病院・医院の診療科目の日や時間がまちまちで一人一人への対応が難しい。デマンドタクシーでも困難な点がある。小出病院、基幹病院へのバスは今年から路線化した。地域内を小まめに回る交通が確保できるよう検討している。	守門
55	地域医療	Q 基幹病院で受診した。通院が大変なので入院希望したが、看護師不足で病室が確保できないと断られた。看護人材を増やせないか。 A 国の医療制度では入院期間を減らす考え。基幹病院では現在3つの病棟が看護師不足のため稼働していない。看護師不足に対応するため県、市、医療公社が3段階で奨学資金を設置した。月15万円まで貸与できるので利用してほしい。	守門
56	地域医療	Q 医療報酬は2年ごと、介護報酬は3年ごとの改定、今年は両方の改定の年。基幹病院や大きな病院ができると看護人材がそっちに流れ、民間機関が看護師不足になっている。看護師、介護士の人材確保を議会として対応できないか。 A 努力し対応しているがなかなか成果が出ていない。	守門
57	地域医療	Q 看護師の確保について、もう少しきちんと説明していれば、ちゃんと確保できていたのではないか。議会でも良い質問があるがもう少しやり方と視点を変える必要あるのではないか。5年前、3年前とどのような取り組みを行ってきたのか。 A 看護師確保については、小出高校で医療専攻コースを設け、今年は18名が医療を目指すことになっている。今年から医師看護師修学資金貸与を医療公社で行っている。	広神
58	地域医療	Q 医師・看護師不足のために、県と良く協議すれば統一試験ができるのではないか。成績順によって配分がうまくいくのではないか。もっと様々な方々と意見交換すればうまくいくような気がします。 A 今の件は非常に重要な問題ですので、今後生かしていきたい。	広神
59	庁舎	Q 発議2号、庁舎一本化の決議は、市長提案の当面教育委員会を堀之内に残すことに反対する意味の決議か。 A 市長選で30億円、7,000㎡の庁舎を訴えた佐藤市長が当選、地域からの要望に応えた計画に対し、新庁舎完成までに月日があるので、その間に協議、検討し一本化すべきという議会の判断です。	堀之内
60	庁舎	Q 10,000㎡を7,000㎡縮小する計画だが、建物というのは建ててみると狭く感じるが多々あるが、狭くないのか。 A 新市長の公約。職員1人に何㎡という基準がある。それを元に算出しているが、常時使用しない部屋をフレキシブルに利用することで7,000㎡でも可能であると思う。庁舎再編整備特別委員会で調査します。	堀之内
61	予算	Q 29年度予算額が昨年より24億7千万円減額になったのはなぜか。 A 湯之谷小学校や守門こども園などの大型建設事業が、市役所庁舎を残して完了したため。	入広瀬

No.	所管	内 容	地区
62	予算	Q 維持補修費が22億円増加しているが、これは要望を受けての予算なのか。地域の要望を市に提出しても、金がない、と先送りされている。 A 6月に各自治会が要望書を市に提出しているが、自治会の数が多く、なかなか要望に応えられない事が多くある。	入広瀬
63	予算	Q 予算の人件費に臨時職員は入っているか。 A 物件費に入っている。人件費約40億円は正職員約440人のみ。全部たすと51億円くらい。 Q 別枠で作るべきではないか。 A 国の制度上のものであり、こういうものとなっている。	湯之谷
64	議運	Q 報告会への出席人数が少ない。多数の人が来てくれる方法を議員も考えて欲しい。区長も来ていないが検討して欲しい。議会報告会ではあるが、どうしても行政への質問になってしまう。 A 集まりやすい説明や、市民が関心を持つように今後検討していく。	入広瀬
65	議運	Q 報告会では、市長の施策に議員はどう質問したか。そして市長の答えはどうだったか。市長と議会のやり取りを聞きたい。 A 多数参加してくれるように検討する。説明が長いこともある。車座になってテーマを決めて議論をするとか。また、議員個人の考えをいえるか、検討する。	入広瀬
66	議運	Q 議会報告会が分かりにくい。原稿を作ってベラベラ述べているだけではないか。話題をしぼって欲しいし、数字も頭に残らない。キャッチボールができるような会にしてほしい。 A 議会報告会を始めたときから良い方法を常に検討してきたが、いつも課題である。実行委員会に持ち帰らせてほしい。また、伝えかたについても、パワーポイントなどを使い研究してみたい。	湯之谷